

平成29年度各部の重点課題の取組結果

部名	都市デザイン部
部長名	森本 貞男

【基本方針】

都市デザイン部では、道路、公園、河川等の都市基盤施設について、成長と活力及び安全と安心の観点から、柏原市の発展、市民の安全性や利便性の向上に必要なインフラ整備を推進します。

災害に強いまちづくりを実現するために、生活基盤施設整備と橋りょうなどの計画的な維持補修や長寿命化及び耐震補強に取り組み、住宅等に対しては耐震化及び空家等対策の促進を図り、公園や広場、緑地を災害時には一時的な避難もできるように、安全で安心な施設として維持保全に努めます。

また、交通安全対策として警察や交通安全協会と連携し交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の交通安全意識の高揚を図るため、啓発活動の充実を図ります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	効果的・効率的な道路整備の推進	B
2	計画的な維持補修の推進	B
3	交通安全対策の推進	A
4	住宅・建築物の耐震化の促進	B
5	空家等対策の推進	A

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 1	効果的・効率的な道路整備の推進
--------	-----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	誰もが安全で安心して移動できる歩道のバリアフリー化を推進するとともに、道路の拡幅により車の通行が困難な危険箇所の解消を目指し、広域交通網では、良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図るための取組みを行います。
---------------------	---

活動目標
上市法善寺線は、都市計画道路大県本郷線の完成後、交通量の増加が見込まれることから、スムーズな交通処理を図るため、接道交差点の整備に必要な用地確保に向けて、引き続き用地鑑定や物件補償の算定等を行い、用地取得の交渉を進めていきます。
市道畑信貴線に接道している信貴太平寺線の整備を図るため、道路拡幅に必要な用地の確保に向け、用地測量及び境界確定業務を進めていきます。
近鉄大阪線の堅下駅及び法善寺駅の利便性及び安全性の向上を図るため、両駅のバリアフリー化に向けて、堅下駅・法善寺駅周辺地区のバリアフリー基本構想策定業務に着手します。

具体的な取組実績
上市法善寺線は、都市計画道路大県本郷線との接道交差点の整備に必要な用地確保に向けて、用地取得の交渉に必要な、土地価格や補償費の算定を行うため、物件補償算定業務、用地鑑定評価業務に取り組み、順次、用地取得の交渉を進めています。
市道畑信貴線に接道している信貴太平寺線の整備を図るため、道路拡幅に必要な用地確保に向け用地対象地の境界確定及び詳細設計業務に取り組んでいます。
近鉄大阪線の堅下駅及び法善寺駅の利便性及び安全性の向上を図るため、両駅のバリアフリー化に向けて、柏原市バリアフリー基本構想協議会を設置し、両駅周辺地区のバリアフリー基本構想策定業務に取り組んでいます。

達成目標
接道交差点部の整備を行うことで、スムーズな交通処理ができ、また歩道設置による歩行者の安全が確保されることとなります。
信貴太平寺線の道路拡幅の整備を行うことで、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産の向上が図れることになるとともに、奈良県側から竜田古道の里山公園へのアクセスがスムーズになります。
堅下駅・法善寺駅周辺地区のバリアフリー基本構想を策定することで、両駅周辺のバリアフリー化により、市民の利便性及び安全性の向上が図れます。

達成状況	達成度
接道交差点部の整備に必要な用地の確保に向けて、土地所有者等へ事業について説明を行い、ご理解を頂いた場所から、補償物件の調査を行い、土地価格や物件補償額の算定後、用地取得の交渉を進めており、今後も、引き続き進めてまいります。	B 概ね達成
道路拡幅の整備に必要な用地確保に向けて、用地対象地の境界が確定できる見込みとなり、また詳細設計については関係機関と協議を行い、今年度末に完成する予定です。	B 概ね達成
バリアフリー基本構想協議会は、学識経験者や高齢者団体の代表の方や障害者団体の代表の方などを委員として組織するもので、今年度末に第1回バリアフリー基本構想協議会を開催するように進めております。	B 概ね達成

総合評価・総括
誰もが安全に安心して移動できる道路の整備をするため、平成15年3月に策定した「柏原市交通バリアフリー基本構想」に基づいて、バリアフリー化を推進するとともに、道路の拡幅により車の通行が困難な危険箇所の解消や、広域交通網となる都市計画道路の整備事業による良好な市街地の形成を目指して取り組んでおります。また、国道25号の交通渋滞を解消ため、国土交通省に渋滞解消対策を講じていただくよう要望も行ってあります。

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 2	計画的な維持補修の推進
--------	-------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路、橋りょうの維持管理については、計画的な維持補修及び長寿命化に取り組むとともに、点検パトロールの強化により、通行の安全確保や利便性の向上に取り組みます。
---------------------	--

活動目標
一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋は、地域防災計画において、地域緊急交通路に位置付けられている路線上の重要な橋であり、ライフサイクルコストの低減と長寿命化及び防災上の安全と安心を図るため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕と大規模地震に備えた耐震補強工事に着手します。
道路の維持補修を計画的に行うために、舗裝修繕計画に基づき、老朽化した舗装面の修繕工事を行います。
道路法の改正により、橋りょうについては、5年に一度の近接目視による点検が道路管理者に義務付けられたことから、平成24年度に続き、橋りょう点検業務を行います。

具体的な取組実績
一級河川大和川及び国道25号をまたぐ国分寺大橋につきましては、平成29年度より、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕と大規模地震に備えた耐震補強工事に着手して進めております。
道路の維持補修を計画的に行うために舗裝修繕計画に基づき舗装面の老朽化が進んでいる高井田18号線、本郷12号線、本郷平野線、青谷2号線の舗装補修工事に取り組んで進めています
道路法の改正により、橋りょうについては、5年に一度の近接目視による点検が道路管理者に義務付けられたことから、橋りょう点検業務に取り組み、市の管理する124橋の点検を進めています

達成目標
国道25号から国分寺大橋を渡った西側に位置する青谷運動広場は、柏原市地域防災計画において、災害時の臨時ヘリポートや、仮設住宅候補地にもなっていることから、国分寺大橋の、耐震補強を行うことで、大規模地震災害時の救命救助活動や支援物資の輸送等に、重要な役割を果たすことができます。
老朽化した舗装面の修繕工事を行うことで、車両及び歩行者の安全な通行が確保できます。
橋りょう点検を行うことで、現状が把握でき、点検結果で得た情報により、合理的かつ効果的な維持管理を行うことができます。

達成状況	達成度
当該工事は一級河川大和川の河川区域内の工事となるため、非出水期間（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約があることから、複数年に跨る工事となります。平成29年度では、下部工橋脚2箇所の耐震補強などの工事を実施しており、平成30年5月末に完成するように進捗を図っています。	B 概ね達成
高井田18号線、本郷12号線、本郷平野線、青谷2号線の舗装補修工事については今年度末の完成を予定しています、工事完成により車両及び歩行者の通行の安全が確保できます	A 達成
橋りょう点検業務は年度内に完了する予定です、橋りょうの点検結果を踏まえて、合理的かつ効果的な維持管理を行うことで、通行の安全と安心を図れることとなります	A 達成

総合評価・総括
道路、橋りょうの維持管理については「舗裝修繕計画」及び「橋りょう長寿命化計画」の基づき計画的な維持補修に取り組んでおります。また日常のパトロールや市民から通報等による道路の破損等については、迅速に対応し、通行の安全性の確保や利便性の向上を図っております

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 3	交通安全対策の推進
--------	-----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	自転車等放置禁止区域での自転車放置ゼロを目指します。啓発活動を充実させ、市民の交通安全意識の向上を図ります。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
自転車等放置禁止区域での自転車等の放置防止の啓発活動を行います。	近鉄河内国分駅前新たに4か所、自転車等放置禁止区域の路面標示を増設いたしました。また、キャンペーンなどの行事の際に、啓発のティッシュを配布いたしました。
交通安全キャンペーン、ホームページ、フェイスブック、市広報等の啓発活動を行います。市内小学校等において交通安全教室を実施いたします。	市広報に交通安全に関する記事を掲載し、交通安全運動や交通安全キャンペーンの様子をフェイスブックに掲載しました。市内保育所、幼稚園、小学校で春と秋の交通安全教室を実施いたしました。

達成目標	達成状況	達成度
前年度より放置自転車等への警告札貼付枚数の増加および移動保管台数の減少をめざします。	前年度より、放置自転車自体が減少しており、これは以前から取り組んでいる、自転車の放置防止の啓発が、浸透してきているものと思われます。それに伴い、警告札貼付枚数も減少し、移動保管台数も減少しています。	A 達成
前年度より市内交通事故発生件数の減少をめざします。	平成29年の柏原市内の交通事故件数は、312件であり、平成28年が326件であったので、14件減少しています。	A 達成

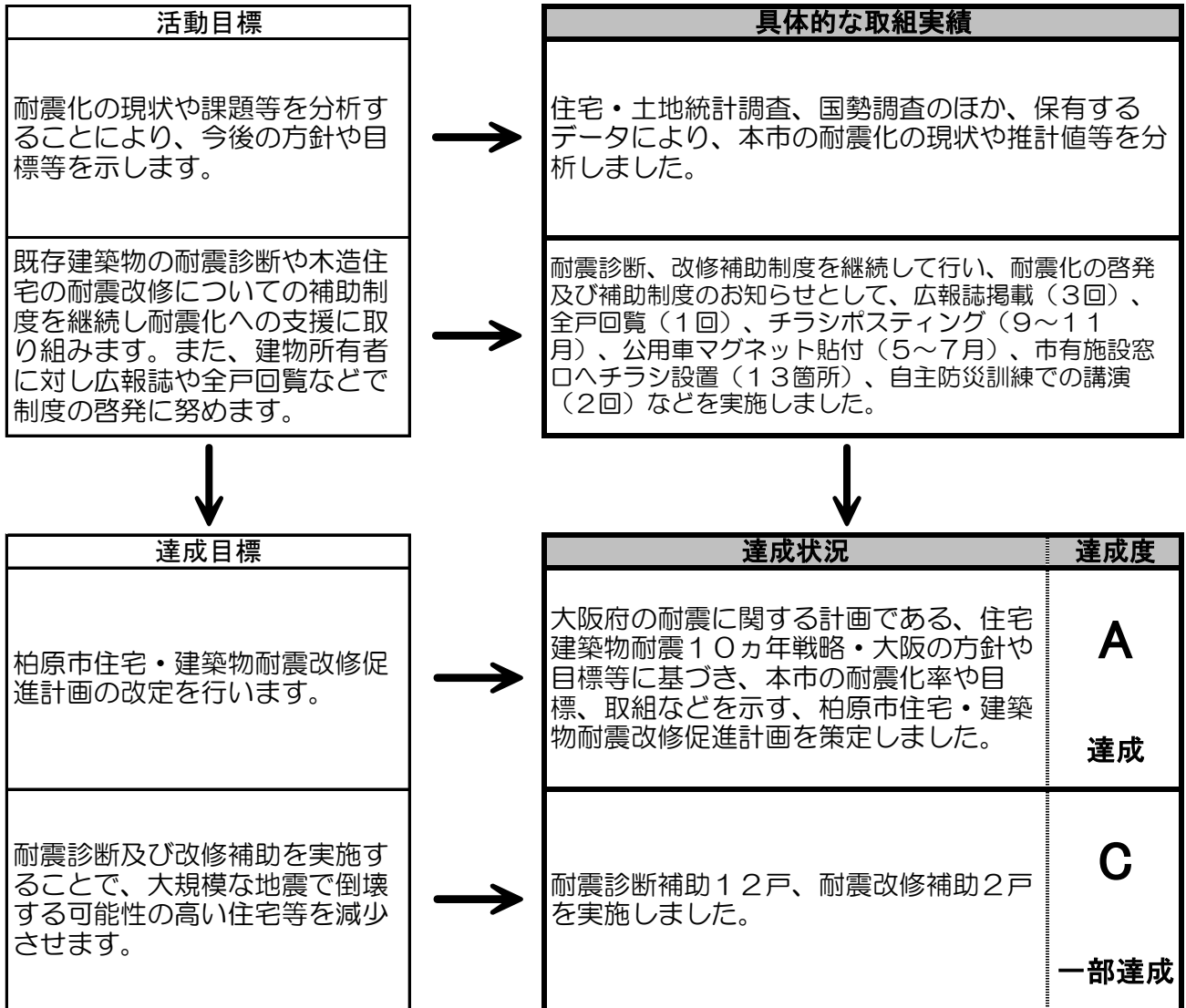
総合評価・総括
柏原市内の交通事故発生件数は、年々減少しており、また自転車放置禁止区域での放置自転車も年々減少しています。これは以前から取り組んできた市民への啓発活動が浸透し、市民の交通安全意識が向上しているものと思われます。今後も自転車放置防止等の市民への啓発活動を積極的に行い、より一層交通安全教室等の交通安全運動に取り組み、交通事故発生件数の減少につなげていきたいと思っております。

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 4	住宅・建築物の耐震化の促進
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	住宅・建築物の耐震診断、改修等により耐震化を促進することで、大規模な地震から市民の生命・財産を守ります。
---------------------	--



総合評価・総括
柏原市住宅・建築物耐震改修促進計画及び地震防災マップを作成、耐震に関する啓発等は予定通り取り組みました。しかしながら、住宅の耐震診断・耐震改修の補助実績は伸びる傾向にないことから、除却補助等の新たな制度も検討していく必要があると考えます。

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 5	空家等対策の推進
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	柏原市空家等対策計画に基づき、今後も増加すると予想される空家等の利活用や適正管理の促進に努めます。
---------------------	---

活動目標
平成28年度に行った現地調査を基に、悪影響の高いと思われる空家等については詳細な調査を再度行い、管理不全な空家等の把握に努めます。

具体的な取組実績
平成28年度の現地調査を基に、特定空家等を把握するため3次調査を実施しました。又、柏原市空家等対策庁内調整会議、柏原市空家等対策協議会をそれぞれ2回開催し、空家等の対策について協議しました。

達成目標
再調査により空家等の点数化を行うことで優先順位を確認し、所有者に対し啓発文書の送付や助言・指導等で改善や除却を促すことにより、周辺への安全確保等を促進します。

達成状況	達成度
3次調査により把握した特定空家等を含む52件に対し、啓発文書や法に基づく助言文書等を送付しました。	A 達成

総合評価・総括
現地調査や啓発文書の送付等は予定通り行いましたが、直ちに対応・改善される案件は少ないのが現状です。啓発を促すことで空家等の所有者に問題意識を持ってもらうことが必要であり、今後も継続して空家等の対策に努めます。

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 6	安全で快適な公園や広場などの確保及び緑の環境の保全
--------	---------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地域のインフラとして愛着のある安全で快適な公園・広場の確保及び緑地の保全を目指します。
---------------------	---

活動目標
市民の方々との協働による草花の植栽等を通じて、みどり豊かなまちづくりの推進に努めるとともに、安全、安心な公園のために必要な施設の点検、補修、樹木の剪定などを行います。
土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例に基づき、土砂災害防止のためパトロールに努めます。

具体的な取組実績
花苗配布事業を年間2回（春・秋）行い、みどり豊かなまちづくりを推進しました。協働緑地でも、市民と協働で草花の植栽等を年間7回実施しました。市内公園についても、専門業者にて321基の遊具点検及び79箇所の樹木剪定を実施、さらに職員による公園パトロールも強化し、予防保全に努めて公園の安心・安全の向上に努めました。
雨期を中心に月2回程度のパトロールを実施して、土砂災害防止に努めました。無許可事業防止においても、条例に抵触しそうな現場を2箇所発見して事前指導を行いました。

達成目標
市街地での緑化推進、公園等の巡視や草抜きゴミ拾い等の軽易な作業については市民協働を呼びかけ、ご利用者の皆様に愛着を感じていただける公園づくりに取り組んでまいります。
土砂条例に関する無許可事業の防止を行います。

達成状況	達成度
年間2回の花苗事業で、春は23箇所、秋は24箇所と箇所数が1箇所増加し、市街地のみどりが増えました。協働緑地での植栽等も整備管理委員会と協働で行い緑化を推進しました。市内公園の巡視や軽微な作業等について、市で対応できない場合も含め、地元区長を中心に作業を実施していただき、愛着もてる公園づくりに取り組みました。	B 概ね達成
今年度は2件、条例に抵触しそうな現場を発見しました。現場状況を確認したところ条例には抵触しませんでした。条例の内容を説明して無許可事業防止に努めました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>総合評価・総括としては、活動目標は概ね達成しました。</p> <p>花苗配布や協働緑地での植栽等、公園・広場の巡視及び維持管理、土砂災害防止のパトロールについて、一定水準達成できました。</p> <p>しかし、安全で快適な公園・広場を確保していくためにも、市内公園・広場の効率的な維持管理体制を構築していく必要があります。</p> <p>今年度は事後保全件数が多かったことから、事後保全の件数を減らし、予防保全の件数を増やしていく事が必要です。</p> <p>緑の環境保全という観点からも、パトロール強化が今後の課題です。</p>